

# 福岡県公安委員会活動状況

## <定例会の主な議題及び要旨>

平成31年4月4日（木）

### 【報告事項】

#### 1 平成30年度下半期における留置施設に対する実地監査結果等について

（警務部）

警察本部から「平成30年度下半期における留置施設の実地監査については、警察署の19留置施設を対象に実施した。良好事項としては、大号令等による規律及び秩序の維持や実践的な戒具使用実技の実施があり、指導事項としては、被留置者の金品の保管管理の不備や所持品検査の実技における検査不足があった。」旨の報告があった。

公安委員から「留置事故には、被留置者の逃走事案のほか、どのような事案があるのか。」旨の発言があり、警察本部から「自殺、急病者への不適切対応による死亡、被留置者同士の喧嘩等を想定しており、留置担当官の指示に従わないなど留置施設内での規律違反等についても事故につながるおそれがあるので、動静監視を徹底している。引き続き、留置施設内の規律及び秩序の維持に努めていく。」旨の説明があった。

#### 2 平成30年中におけるストーカー・DV事案への対応状況等について

（生活安全部）

警察本部から「ストーカー事案の相談等件数は1,574件で前年比15件減少し、DV事案の相談等件数は2,276件で前年比230件増加している。今後、警察本部と警察署の一層の連携強化、関係機関等との連携強化による被害者保護対策の推進及びストーカー加害者更生対策の更なる推進に取り組んでいく。」旨の報告があった。

伊達委員から「ストーカー事案の相談等に対し、その危険性を慎重に判断して、積極的に対応することは、県民の安心感につながると思う。」、杉委員長から「ストーカー・DV事案については、被害者等の安全確保を最優先として、警察本部と警察署の連携による組織的な取組をお願いする。」旨の発言があった。

#### 3 地域警察官の職務質問による犯罪検挙状況について

（地域部）

警察本部から「本県地域警察官1人当たりの職務質問による犯罪検挙件数は、全国トップである。主な検挙の内容は、暴力団の資金源につながる薬物事犯をはじめ、県民の身近で発生する窃盗犯や重要凶悪事件などに発展する可能性のある銃刀法違反等である。今後、警察署職務質問指導員の指導能力及び警察署地域警察官の職務質問技能の更なる向上並びに教養資料の充実化に取り組んでいく。」旨の報告があった。

公安委員から「本県地域警察官1人当たりの職務質問による犯罪検挙件数が高いのは、積極的な職務執行の成果である。引き続き、地域警察官の職務質問技能の向上をお願いする。」旨の発言があった。

公安委員から「本県警察官の職務質問技能が優れているのは、本県独自の取組があるのか。また、職務質問は任意活動であり、裁判においては任意性が争点となることから、職務執行時の任意性の担保には十分注意をお願いする。」旨の発言があり、警察本部から「本県は、過去の治安情勢から暴力団対策を強力に推進しており、制服警察官の積極的な職務質問による暴力団組員の検挙など、数多くの現場経験が力強い職務執行につながっていると考えられる。職務質問については、任意性を担保した上で、積極果敢に実施し、犯罪の抑止及び検挙に努めていく。」旨の説明があった。

#### 4 し尿処理施設建設工事をめぐる贈賄事件被疑者の再逮捕について

(刑事部)

警察本部から「豊前警察署ほか5警察署及び捜査第二課は、福岡県築上郡築上町が執行した建設工事の一般競争入札をめぐり、3月9日に会社員を逮捕した事件について、突き上げ捜査の結果、同町議会議員であった者に対し、同町職員に入札参加要件の変更などを働き掛けてもらったことに対する見返りとして2回にわたり、現金合計800万円の賄賂を渡した事実を確認したことから、3月30日、贈賄の事実で会社員を再逮捕した。今後、徹底した捜査を行い、事件の全容解明を図る。」旨の報告があった。

#### 5 し尿処理施設建設工事をめぐる談合事件被疑者の逮捕について

(刑事部)

警察本部から「豊前警察署ほか5警察署及び捜査第二課は、福岡県築上郡築上町が執行した建設工事の一般競争入札をめぐり、3月9日に会社員を逮捕した事件について、突き上げ捜査の結果、同入札に関係会社を参加させた上、逮捕された会社員が所属する会社を上回る金額で入札させて、同社に同工事を落札させ、その見返りとして1,000万円の利益を関係会社に与えた事実を確認したことから、4月3日、談合の事実で逮捕された会社員が所属する会社の社員3名及び関係会社の社員1名を逮捕した。今後、徹底した捜査を行い、事件の全容解明を図る。」旨の報告があった。

#### 6 科学捜査研究所職員の農学博士の学位取得について

(刑事部)

警察本部から「平成28年4月から、九州大学大学院に在籍していた科学捜査研究所職員の学位論文が評価され、3月20日付けで「農学博士」の学位を取得した。研究内容は、ヘリウム使用の科学的証明が困難な点に着目し、血液から容易に微量のヘリウムを検出できる方法を開発したものである。」旨の報告があった。

公安委員から「本県職員に博士の学位を取得しているものは、何名いるのか。」旨の発言があり、警察本部から「博士の学位取得者数は、歴代では19名、現職では8名である。」旨の説明があった。

#### 【その他の報告事項】

警察本部から「本日は、G20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議警備に伴う警備部隊長等指名式、明日は、初任科等入校式に出席する。来週8日は、総務課長会議、10日は、G20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議警備訓練、11日は、生活安全課長会議を開催する。」旨の発言があった。

